

(基本目標3) 多様で豊かな自然の恵みを次世代へつなげるまち

1. 生物多様性の保全・向上

1-1 希少動植物の保護

(ア) コシガヤホシクサ野生復帰事業

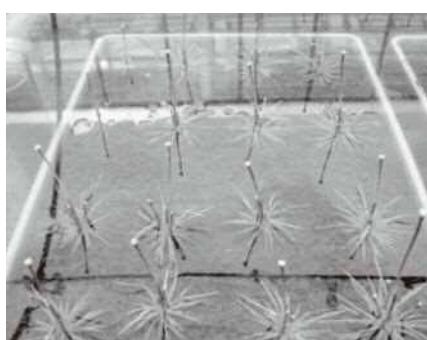
コシガヤホシクサは昭和13年に旧越ヶ谷町の元荒川付近で発見され、翌年新種のホシクサとして発表されました。このとき、発見地にちなんでコシガヤホシクサと命名されました。その後越谷市周辺では見られなくなりました。昭和50年には、茨城県下妻市の砂沼という農業用のため池で再発見されましたが、ため池の環境の変化により平成6年に絶滅してしまいました。しかし、残されていた種子から、国立科学博物館筑波実験植物園などの関係機関により、現在は砂沼での野生復帰の取り組みが進められています。

市では、「越谷」の名を持つ貴重な植物であるコシガヤホシクサを越谷で野生復帰させる取り組みを進めています。平成23年から、国立科学博物館筑波実験植物園から種子の提供や技術指導を受け、農業技術センターにおいて種子増殖のための栽培を行っています。また、専門家や関係機関との検討・協議を進め、かつてコシガヤホシクサが発見されたと考えられる葛西用水路で播種実験を行い、野生復帰に必要となる生育条件を調査しています。

野生復帰事業の経過

| 年度 | 概要 | 栽培の概要 | | | 播種実験の概要 | |
|----|-----------------------------|-------|---------|------|---------|-----|
| | | 播種数 | 回収種子数 | 特別展示 | 播種数 | 試験区 |
| 23 | 栽培の開始 | 5千粒 | 45万粒 | 1ヶ所 | | |
| 24 | 野生復帰検討会議の設置 | 6万粒 | 136万粒 | 1ヶ所 | | |
| 25 | 野生復帰候補地環境調査 野生復帰技術開発計画策定 | 3万粒 | 65.9万粒 | 7ヶ所 | | |
| 26 | 葛西用水での播種実験開始 | 3万粒 | 140万粒 | 9ヶ所 | | |
| 27 | 中学校との協力事業開始(中央中・東中) | 3万粒 | 184万粒 | 9ヶ所 | | |
| 28 | 葛西用水に見本園を設置し、開花に至る | 3.3万粒 | 144.3万粒 | 7ヶ所 | | |
| 29 | 平和橋付近に見本園を増設、開花に至る | 1万粒 | 78.9万粒 | 7ヶ所 | | |

※種子の数は概数



農業技術センター内で栽培されているコシガヤホシクサ



葛西用水での播種実験

(イ) シラコバト保護事業

シラコバトは、昭和31年に「越ヶ谷のシラコバト」として国の天然記念物に、昭和40年に「県民の鳥」に、昭和63年には「市の鳥」に指定され、多くの市民に親しまれてきました。しかしながら、市街化によるねぐら・営巣地となる屋敷林の減少、主要な採餌場所となる耕作地や畜舎の減少、畜舎への侵入遮断などによりその生息数が激減しています。

市では、埼玉県に協力し、シラコバトの生態に詳しい専門家、シラコバトを飼育している動物園、関係行政機関等とシラコバト保護対策検討会議に参加するとともに、平成26年3月に策定された「埼玉県シラコバト保護

計画」に基づき、保護事業を実施しています。キャンベルタウン野鳥の森では、平成20年よりシラコバトの保護増殖を行っており、平成26年10月に市内で初めて飼育増殖に成功しています。また、平成27年度には埼玉県の補助金を活用し、シラコバト保護増殖施設(木造平屋建て26.44m²)を整備しています。平成29年度末時点での飼育数は15羽となっています。



野鳥の森で初めて孵化したヒナ



シラコバト保護増殖施設

(ウ)キタミソウ保全事業

キタミソウは、北海道の北見地方で発見され、その名がついたと言われています。越谷市内では、昭和25年に発見され、その後絶滅したとされていましたが、昭和53年にト沢氏によって、市内の葛西用水で再発見されました。一年草で種子により繁殖し、花は非常に小さく1~2mm程度の白色、葉はスプーン型の長楕円形で柄を含めて2cm程度です。越谷では、用水の水が落ちた後の湿った川底で成育し10~12月と3~4月に花が見られます。市内では、葛西用水と古利根川に生育していますが、中でも、越谷市役所前の葛西用水路瓦曾根溜井に多く見られます。



キタミソウ

キタミソウの自生地は、行田市、春日部市、岩槻区、草加市等でも確認されていますが、その中でも、葛西用水路瓦曾根溜井は、最大の自生地になっています。埼玉県レッドリストでは、野生での絶滅の危険性が高い、絶滅危惧IB類に分類されています。

平成12年度には「埼玉県希少野生動植物の種の保護に関する条例」に基づく「県内希少野生動植物」に第1次指定され、捕獲や採取する場合はあらかじめ県への届出が必要となっています。また、葛西用水路瓦曾根溜井では毎年、市民団体により「キタミソウ観察会＆クリーン作戦」が行われています。

(エ)フジバカマ保全事業

フジバカマは、秋の七草の1つに数えられ、河川敷などの明るく湿った草地に生育する多年草です。近年、湿地の埋め立てや河川敷の開発などで生育地が激減し、埼玉県レッドリストでは、準絶滅危惧種に指定されています。市内では元荒川河川敷の一部に自生地がありますが、その他に、自生地付近の公園の保護ゾーンにおける保全作業の実施、市内の小学校での保全事業等が行なわれています。



フジバカマ

1-2 鳥獣保護

「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」に基づき、越谷市内では、宮内庁埼玉鴨場周辺 145ha、大吉調節池周辺 10.3ha が「鳥獣保護区」に指定され、捕獲が禁止されています。その他の地区でも、法律に基づき狩猟鳥獣の種類と、狩猟期間及び捕獲数量の制限などが定められています。また越谷市全域は、銃猟禁止区域に指定されています。

(ア) 傷病野鳥保護治療・傷病野鳥里親事業

傷ついたり病気になつたりして衰弱し、保護が必要な野鳥に適切な治療を施し、山野で生息できる状態に回復するまで保護飼養し、自然に復帰させる事業を平成 3 年度より市内の獣医師と市民等の協力により実施しています。里親登録者数は、平成 29 年度末で個人 10 人となっています。

傷病野鳥の保護数(平成 29 年度)

| | | | | | |
|--------|---|---------|---|--------|---|
| フクロウ | 1 | カワセミ | 1 | ジョウビタキ | 1 |
| カモ | 1 | チョウゲンボウ | 1 | アオバズク | 1 |
| スズメ | 1 | モズ | 1 | オオバン | 1 |
| ドバト | 6 | アオバト | 1 | ハヤブサ | 1 |
| ツバメ | 4 | キジバト | 1 | ヒヨドリ | 2 |
| メジロ | 1 | ゴイサギ | 1 | 不明 | 1 |
| ハクセキレイ | 1 | カワラヒワ | 1 | | |

保護実績(年度別)

| 年度 | 保護数 | 治療数 | 放鳥数 | 死亡数 | 里親依頼件数 |
|-------|------|------|-----|-----|--------|
| 3~10 | 453 | 449 | 227 | 216 | 52 |
| 11~20 | 800 | 680 | 356 | 367 | 87 |
| 21~25 | 210 | 176 | 87 | 111 | 19 |
| 26 | 33 | 18 | 11 | 9 | 4 |
| 27 | 30 | 17 | 20 | 8 | 0 |
| 28 | 22 | 14 | 9 | 11 | 4 |
| 29 | 35 | 31 | 16 | 14 | 5 |
| 合計 | 1583 | 1385 | 726 | 736 | 171 |

(イ) 有害鳥獣対策

埼玉県内では、野生化したアライグマやハクビシンによる、農作物への被害や、人家に住み着く等の生活被害が急増しています。また、カラスによる人間への攻撃被害も多く寄せられています。市ではこのような被害などにより捕獲の必要があると認められた場合、申請に対し捕獲の許可をしています。また、市では平成 21 年度より埼玉県アライグマ防除実施計画に参加しており、平成 29 年度は 21 頭捕獲しています。

捕獲鳥獣数(過去 5 年間)

| 年度 | 捕獲件数 | | | | | |
|----|---------|--------|------|-------|-------|----|
| | ドバト | カラス(卵) | カラス | ハクビシン | アライグマ | |
| 25 | 75 | 3 | 2 | 15 | アライグマ | 5 |
| | キジバト(卵) | | | | | |
| 26 | 3 | 4 | 32 | 15 | アライグマ | 12 |
| | ドバト | | ムクドリ | | | |
| 27 | 3 | 18 | 35 | 18 | アライグマ | 6 |
| | ドバト(卵) | | | | | |
| 28 | 1 | 21 | 2 | 21 | アライグマ | 12 |
| | カラス | | | | | |
| 29 | 69 | 4 | 5 | 2 | ハクビシン | 19 |
| | ドバト(卵) | カラス(卵) | | | アライグマ | 21 |

(ウ)特定外来生物

特定外来生物とは、生態系、人の生命・身体、農林水産業に被害を及ぼすおそれがあるため、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律(外来生物法)」により指定された外来生物のことで、飼養、栽培等が規制されております。越谷市内では下記の特定外来生物の目撃情報が寄せられております。

越谷市内で目撃情報のあった特定外来生物

| 植物(4種) | 魚類(4種) | 哺乳類(1種) |
|----------|---------|------------|
| オオキンケイギク | カダヤシ | アライグマ |
| アレチウリ | オオクチバス | 両生類(1種) |
| オオフサモ | アメリカナマズ | ウシガエル |
| ミズヒマワリ | ブルーギル | 爬虫類(1種) |
| | | カミツキガメ |
| | | 昆虫類(1種) |
| | | クビアカツヤカミキリ |

1-3 ふるさといきもの調査

越谷市では、市内のいきものの生息状況から見た越谷の自然環境の現状を把握することを目的に、市民調査員の協力により、平成9年度から5年ごとに「越谷市ふるさといきもの調査」を実施しています。平成29年度から、調査方法や指標生物などの見直しを行い、「越谷市いきもの調査 2017-2020」として、4年間に渡って実施しています。

○平成29年度調査結果

実施期間: 平成29年7月1日～9月30日(夏期)

参 加 者: 197名

説 明 会: 平成29年6月18日(日)午前10時～11時30分

越谷市中央市民会館(119名参加)

一斉調査: 平成29年7月17日(祝・月)午前9時30分～午前11時30分

埼玉県県民健康福祉村(46名参加(調査員32名、一般参加14名))

報告件数: 3,300件

(指標生物) ※()内数値は発見報告件数

草 本: ヨシ(283)、ミゾソバ(13)、アレチウリ(120)

鳥 類: カルガモ(211)、コサギ(205)、コアジサシ(23)、カワセミ(57)、コゲラ(29)、モズ(58)、シジュウカラ(137)、ツバメ(巣)(274)、メジロ(10)、オオヨシキリ(30)

昆 虫: モンシロチョウ(319)、スジグロシロチョウ(12)、アオスジアゲハ(369)、コクワガタ(2)、ヒグラシ(8)、クマゼミ(42)、カマキリ類(93)、シオカラトンボ(325)、ハグロトンボ(92)、イナゴ類(58)、ショウリョウバッタ(215)、トノサマバッタ(116)

は虫類: ヘビ類(14)、カメ類(89)

両生類: トウキョウダルマガエル(19)、ニホンアマガエル(101)

ほ乳類: タヌキなど(6)

2. 緑の保全・創造

2-1 (仮)平方自然観察公園

市内平方地内にある雑木林(平方 853-1 外、2440 m²)は平成 5 年度より土地所有者の厚意により借用し、自然観察林として活用していましたが、平成 24 年度に市が用地の取得を行い、市内では貴重な、まとまった樹林地として保全しています。平成 29 年度は、道路側に伸びた枝の剪定を行いました。



(仮)平方自然観察公園

2-2 こしがや緑のオアシス2020プロジェクト

緑のカーテンや生垣・緑の庭、屋敷林等の創造・維持管理をしていく活動の総称を「緑のオアシス」とし、市と学校・地域コミュニティ・事業者等が連携し、身近な取組から環境問題について考え、実践し、取組の輪を地域に広げていくことを目的とした事業です。平成 25 年度からスタートし、2020 年(平成 32 年)までに、「2020 のエコな取組」の実施を目指しています。平成 29 年度は、越ヶ谷地区と増林地区を重点取組地区とし、市民や小学校の協力により、ゴーヤの苗配布、こしがや緑のオアシスの募集・認定を行いました。

○小学生によるゴーヤの苗作りと配布

弥栄小学校と川柳小学校の児童に、ゴーヤの苗を育ててもらい、運動会に合わせて、地域の方々に配布しました。

○緑のカーテン講習会

緑のカーテンを育て、緑のオアシスに応募して緑のすばらしさを地域に広めていただくため、専門家を講師に招き、「緑のカーテン講習会」を開催し、受講者 66 人にゴーヤの苗を配布しました。

○「こしがや緑のオアシス」の認定

越ヶ谷地区、増林地区と「緑のカーテン講習会」受講者を中心に 7 月 1 日から 8 月 31 日までの期間に募集を行いました。地区コミュニティ推進協議会の協力と、越谷市環境推進市民会議(自然環境委員会)の推薦により多くの応募をいただき、審査の結果平成 29 年度は 32 件を「こしがや緑のオアシス」として認定しました。内訳は、緑のカーテン 21 件、緑の庭・生垣 5 件、屋敷林 2 件、緑の畦 2 件、その他 2 件でした。



認定された緑のオアシスの写真

○こしがや緑のオアシス認定式

「こしがや緑のオアシス」に認定された方に対し、平成30年3月3日に越谷市中央市民会館にて認定式を行いました。当日は、認定証と認定プレートをお渡しするとともに、各部門の代表者から取組の発表をしていただきました。なお、この催しは第14回越谷市環境大会のプログラムの一部として開催しました。



こしがや緑のオアシス認定プレート



こしがや緑のオアシス認定証



こしがや緑のオアシス認定プレート こしがや緑のオアシス認定証

「こしがや緑のオアシス」の認定件数（件）

| 年度 | 募集地区 | 協力校 | 緑の カーテン | 緑の庭・ 生垣 | 屋敷林 | 緑の畦 | その他 | 年度合計 |
|----|------------------------|----------------|------------|------------|-----|-----|-----|--------|
| 25 | 大袋・大沢・蒲生 | 大袋東小・大沢北小・蒲生南小 | 17 | 14 | 1 | 0 | 2 | 34 |
| 26 | 桜井・北越谷 (緑のオアシスサポート) | 平方小・ 北越谷小 | 82 | 13 | 7 | 0 | 2 | 104 |
| 27 | 荻島 (緑のカーテン講習会) | 荻島小 | 45※ 44 | 8 | 12 | 0 | 1 | 66※ 65 |
| 28 | 新方・川柳 (緑のカーテン講習会) | 弥栄小・ 川柳小 | 36 | 12 | 16 | 0 | 0 | 64 |
| 29 | 越ヶ谷・増林 (緑のカーテン講習会) | 弥栄小・ 川柳小 | 21 | 5 | 2 | 2 | 2 | 32 |
| 累計 | 8地区 | 8校 | 200 | 52 | 38 | 2 | 70 | 299 |

※平成25年度に認定されていた方が重複していたため訂正しています。

2-3 公共施設の屋上緑化

越谷市の一の公共施設では屋上緑化を行い、夏の日射の軽減の推進を行っております。

屋上緑化の整備状況

| 整備年度 | 施設名 | 面積(m ²) | 植栽の種類 |
|------|----------------|---------------------|----------------------------------|
| 13 | 本庁舎 | 66 | ヘデラ・アジュガ・セダム |
| 14 | 消防庁舎 | 89 | マンネングサ(一部改修) |
| 14 | ゆりのき荘 | 600 | マツバギク他 |
| 14 | 中央中 | 240 | セダム・ラベンダー・シバ他 |
| 15 | 本庁舎 | 468 | マンネングサ |
| 18 | 城ノ上小学校 | 68.4 | パンジー・ベコニア |
| 19 | リサイクルプラザ啓発棟 | 397 | キチジョウソウ・ヒペリカム他 |
| 19 | 本庁舎(一部改修) | 419 | セダム(全体緑化面積 559 m ²) |
| 20 | 大相模地区センター | 163 | ヘデラ |
| 21 | 消防署蒲生分署 | 36 | ヘデラ |
| 22 | 障害者就労訓練施設しらこばと | 362 | シバ |
| 23 | 本庁舎(一部改修) | 272(改修) | ヒメツルソバ(全体面積 559 m ²) |
| 24 | 児童発達支援センター | 211 | シバ |
| 26 | 保健所 | 237 | クルメツヅジ・サツキ・トウダンツツジ・シバ |

(基本目標4)潤いと安らぎがある、住み続けたいまち

1. 環境保全区域

越谷市環境条例第30条に基づく環境保全区域として、昭和62年3月に次の2箇所を指定しています。

○宮内庁埼玉鴨場周辺

宮内庁埼玉鴨場は、宮内庁が管理する鴨場で、現在は賓客の接遇の場として利用されています。埼玉鴨場の自然環境を中心に、周辺の大林寺の文化歴史環境、さらに隣接の北越谷第五公園、元荒川河畔を含めた区域約17.8haが、「市民に憩いと安らぎを与える水辺及び緑などの優れた自然環境が形成されている区域」として指定されています。

| 地区 | 所在地 | 面積(m ²) |
|---------|--------------|---------------------|
| 宮内庁埼玉鴨場 | 大林1番地外 217筆 | ※99,154 |
| 大林寺 | 大林29-1外2筆 | 1,957 |
| 北越谷第五公園 | 北越谷五丁目 482番地 | 15,170 |
| 元荒川河畔 | 隣接する河畔約 880m | 約 62,000 |

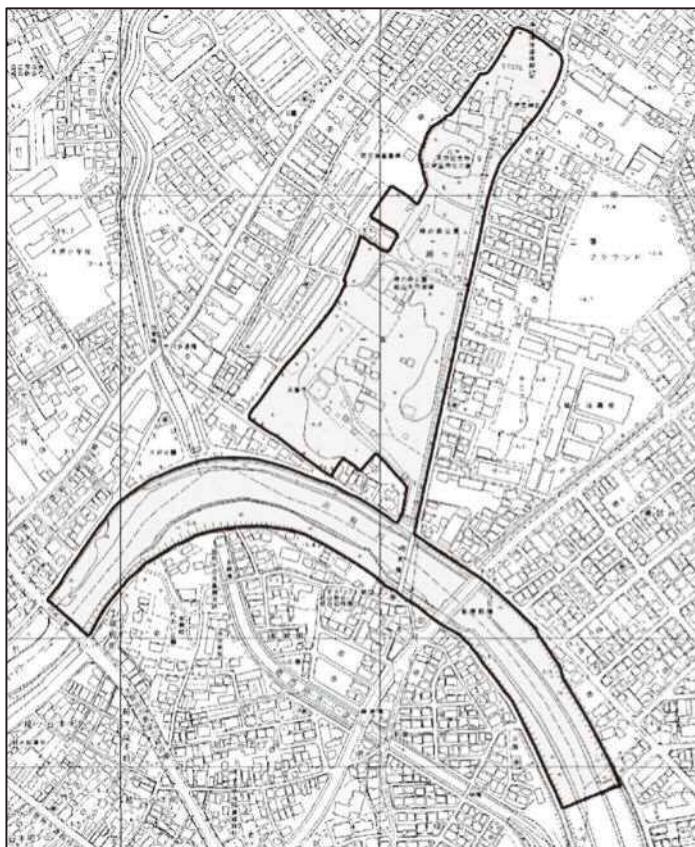
※公簿上の面積の合計。宮内庁埼玉鴨場面積は約11.6haとされていますが、環境保全区域では公簿面積を区域面積としています。



○越ヶ谷久伊豆神社周辺

越ヶ谷久伊豆神社と天嶽寺の文化歴史環境と、越ヶ谷久伊豆神社の社叢とアリタキ植物園(指定時はアリタキアーボレータム)の自然環境、さらに元荒川と緑の森公園(指定時は公園予定地)を含めた区域約8.5haが、「地域の歴史の変遷を知り、地域を特徴づけるうえで重要な社寺若しくは遺跡又は伝統的家並みなど及びこれらの歴史的遺産と結びついた優れた景観を有する区域」として指定されています。

| 地区 | 所在地 | 面積(m ²) |
|------------|-----------------|---------------------|
| 越ヶ谷久伊豆神社 | 越ヶ谷 1697番地外 9筆 | 18,331 |
| 天嶽寺 | 越ヶ谷 2549番地外 24筆 | 24,107 |
| 越ヶ谷アリタキ植物園 | 越ヶ谷 2562番地外 17筆 | 8,121 |
| 緑の森公園外 | 越ヶ谷 2579番地外 31筆 | 10,815 |
| 元荒川河畔 | 隣接する河畔 約 370m | 約 24,000 |



2. 鳥獣保護区

埼玉県の指定鳥獣保護区として、市内では2箇所が指定されています。鳥獣保護区とは、多様な鳥獣の生息環境を保全、管理及び整備することにより、鳥獣の保護繁殖を図ることを目的として、指定されたものであり、狩猟による鳥獣の捕獲等が禁止されております。また、越谷市全域が特定獣具使用禁止区域(銃)として指定されており、銃猟が禁止されています。

越谷市における鳥獣保護区

| 番号 | 名称 | 場所 | 面積(ha) | 期限 | 指定 |
|----|----|-----------|--------|----------|-----|
| 27 | 越谷 | 宮内庁埼玉鴨場周辺 | 145 | 29.10.31 | 昭37 |
| 62 | 大吉 | 大吉調節池 | 10.3 | 36.10.31 | 平16 |



3. 文化財・市の天然記念物等

越谷市には国重要文化財1件、国指定1件、県指定7件、市指定64件の計73件の指定文化財があります。そのうち天然記念物は国指定の越ヶ谷のシラコバト、県指定の久伊豆神社のフジなど、12件が指定され、市ではこれらの保護や維持管理に関する取り組みを支援しています。

市の天然記念物

| 指定区分 | 名 称 | 所在地 | 指定年月日 |
|------|-----------|-----------|----------|
| 国 | 越ヶ谷のシラコバト | 越谷市周辺 | S31.1.14 |
| 県 | 久伊豆神社のフジ | 越ヶ谷 1700 | S16.3.31 |
| 市 | 林泉寺駒止のマキ | 増林 3818 | S42.1.11 |
| 市 | ラクウショウ | 越ヶ谷 2566 | S42.1.11 |
| 市 | 有瀧家のタブノキ | 中町 8-26 | S42.1.11 |
| 市 | 大聖寺のタブノキ | 相模町 6-442 | S58.3.31 |
| 市 | 浅間神社のケヤキ | 中町 | S58.3.31 |
| 市 | 中村家のイチヨウ | 東越谷 | S58.3.31 |
| 市 | 聖徳寺のイチヨウ | 北川崎 18 | S59.9.27 |
| 市 | 森家のイチヨウ | 平方 | H1.3.31 |
| 市 | 田中家のクスノキ | 川柳町 | S62.1.29 |
| 市 | 中村家のクスノキ | 大成町 | S63.2.27 |

市の記念物(名勝)

| 指定区分 | 名 称 | 所在地 | 指定年月日 |
|------|----------|----------|----------|
| 市 | 久伊豆神社 社叢 | 越ヶ谷 1700 | S42.1.11 |

4. 景観

4-1 ポイ捨て・不法投棄の防止

各団体が行った清掃活動等により集められたごみや不法投棄物の収集・処理を行うとともに、ポイ捨て禁止及び飼い犬のふんの放置防止、不法投棄禁止の啓発看板を設置・配布することにより、地域の快適な生活環境を確保し、清潔できれいな街づくりの推進を図っています。

収集件数

| | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|---------|-------|-------|-------|-------|------|
| 自治会清掃件数 | 243 | 300 | 449 | 368 | 363 |
| 不法投棄件数 | 1,449 | 1,426 | 1,461 | 1,120 | 959 |

(基本目標5)市民みんなの協働で、だれもが環境保全に参加するまち

1. 環境教育

1-1 越谷生物多様性子ども調査

平成24年度から始まった越谷市独自の指標生物調査です。この調査では、子どもたちが学校やビオトープ周辺のトンボの生息状況を調べ、活動を通して越谷市の環境の現状について知り、調査結果を元に生きものにとってやさしいまちづくりについて考えます。平成29年度の調査では越谷市内の小学校で、トンボの成虫とヤゴ合わせて26種が確認されました。

各小学校におけるビオトープの整備状況

| 整備年度 | 改修年度 | 学校名 | 面積(m ²) |
|------|------|--------|---------------------|
| 平成4 | 平成26 | 大袋東小学校 | 900 |
| 平成7 | 平成28 | 弥栄小学校 | 400 |
| | 平成28 | 東越谷小学校 | 400 |
| 平成8 | 平成28 | 南越谷小学校 | 800 |
| 平成9 | 平成24 | 川柳小学校 | 250 |
| 平成10 | 平成24 | 桜井小学校 | 200 |
| 平成11 | 平成24 | 西方小学校 | 300 |
| | 平成25 | 蒲生南小学校 | 200 |
| 平成12 | 平成25 | 花田小学校 | 450 |
| 平成13 | 平成25 | 大袋北小学校 | 300 |
| 平成15 | 平成26 | 千間台小学校 | 125 |
| | 平成26 | 桜井南小学校 | — |
| 平成16 | 平成27 | 新方小学校 | 450 |
| 平成19 | 平成27 | 城ノ上小学校 | 615 |
| 平成25 | 平成27 | 増林小学校 | 18 |

※上記に掲載のない小学校についても、コンテナ等を利用した

簡易なビオトープが設置されています。

※小学校以外では平方地区に自然観察林が、大吉調節池には野鳥保護ゾーンが設置されています。また、大相模調節池には市民団体が管理を行っているビオトープが整備されています。

○こしがや子どもトンボサミット

「越谷生物多様性子ども調査」に取り組んでいる市内小学生児童を対象に、調査結果の発表機会の拡大と地域の情報や特徴の共有を目的に「こしがや子どもトンボサミット」を開催しました。この催しは、イオンレイクタウンを会場に、毎年秋に開催される環境イベント「地球にいいことスクール」と合わせて平成28年度から開催し、作家のC.W.ニコル氏を招き、環境活動などについての対話を行いました。

日 時:平成29年10月20日(金)13:30~15:30

場 所:イオンレイクタウン kaze 翼の広場

参加校:大袋北、桜井南、千間台、蒲生南、蒲生第二、大袋東、大袋、大沢、鷺後、北越谷(10校)

※平成28~30年度で、市内小学校(30校)全校が参加します。



1-2 自然観察会・身近な生物調査

市では越谷市内に生息している生物の観察・調査や自然に親しんでもらうため、自然観察会等を開催しています。また、市民団体が行う観察会にも協力しています。

○大相模調節池生物調査

元荒川及び中川と接続されている大相模調節池に生息する生き物の観察のため、川柳地区コミュニティ推進協議会が主催する水生生物調査に、NPO 法人越谷ふるさとプロジェクト、埼玉県東部漁業協同組合とともに協力しました。

日 時:平成 29 年 6 月 4 日(日)10:00~11:30

場 所:大相模調節池ビオトープ周辺

参加者:約 60 名

確認された生物

【魚類】

| No. | 科名 | 種名 | 採集数 | 備考 |
|-----|-----------|-----------|-----|--------|
| 1 | ナマズ科 | ナマズ | 2 | |
| 2 | ウナギ科 | ニホンウナギ | 2 | |
| 3 | コイ科 | モツゴ(クチボシ) | 多數 | |
| 4 | ハゼ科 | マハゼ | 多數 | |
| 5 | ハゼ科 | 又マチチブ | 3 | |
| 6 | スズキ科 | スズキ | 1 | |
| 7 | サンフィッシュ科 | ブルーギル | 4 | 特定外来生物 |
| 8 | タイワンドジョウ科 | カムルチー | 1 | |

【甲殻類】

| No. | 科名 | 種名 | 採集数 | 備考 |
|-----|--------|-------|-----|----|
| 1 | テナガエビ科 | テナガエビ | 多數 | |
| 2 | テナガエビ科 | スジエビ | 多數 | |

【その他】

| No. | 科名 | 種名 | 採集数 | 備考 |
|-----|-------|-------------|-----|---------|
| 1 | ヌマガメ科 | ミシシッピアカミミガメ | 1 | 要注意外来生物 |
| 2 | イシガメ科 | クサガメ | 1 | 外来種 |



○新方川生物調査

河川に生息する生き物の観察のため、新方川をきれいにする会と市が主催し、埼玉東部漁業協同組合の協力により川ガキ養成事業として水生生物調査を行いました。

日 時:平成 29 年 8 月 5 日(土)10:00~11:00

場 所:新方川(向畑橋上流、弥栄小学校西)

参加者:83 名

確認された生物

【魚類】

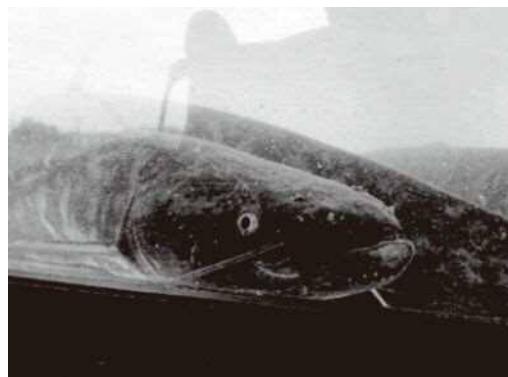
| No. | 科名 | 種名 | 採集数 | 備考 |
|-----|----------|-----------|-----|--------|
| 1 | ナマズ科 | ナマズ | 3 | |
| 2 | ウナギ科 | ニホンウナギ | 2 | |
| 3 | コイ科 | モツゴ(クチボソ) | 20 | |
| 4 | ハゼ科 | マハゼ | 5 | |
| 5 | ハゼ科 | ヨシノボリ | 1 | |
| 6 | スズキ科 | スズキ | 1 | |
| 7 | サンフジッシュ科 | ブルーギル | 6 | 特定外来生物 |

【甲殻類】

| No. | 科名 | 種名 | 採集数 | 備考 |
|-----|--------|-------|-----|----|
| 1 | テナガエビ科 | テナガエビ | 多數 | |
| 2 | テナガエビ科 | スジエビ | 多數 | |

【その他】

| No. | 科名 | 種名 | 採集数 | 備考 |
|-----|-------|-------------|-----|---------|
| 1 | ヌマガメ科 | ミシシッピアカミミガメ | 1 | 要注意外来生物 |



○越谷の原風景「屋敷林」に触れてみよう(第 18 回 ECO 勉強会)

「屋敷林」は、農家の方など個人が所有する敷地に防風などの目的で植えられた林のことをいいます。以前は越谷に多く見られましたが、近年は数が少なくなっています。

勉強会では、所有者のガイドにより、緑のオアシスに認定された屋敷林を歩きながら、歴史や機能などについて学びました。

日 時:平成 29 年 10 月 21 日(土)10:15~12:00

場 所:平方地内

参加者:23 名



○埼玉鴨場見学会～越谷市環境保全区域を学ぶ～(第19回 ECO勉強会)

埼玉鴨場は、新浜鴨場とともに現在宮内庁が管理している2つの鴨場のうちの1つです。埼玉鴨場は、皇室における鴨猟が行われているだけでなく、今日失われつつある自然が見られる場となっています。

日 時:平成30年3月16日(金)10:00～11:40

場 所:宮内庁埼玉鴨場(越谷市大林39)

参加者:41名



1-3 出前授業・環境講演会など

市では地域や小学校等を対象に出前授業や環境講演会を開催しております。平成29年度は、6回実施し、472名が参加しました。また、平成29年度こしがや市民大学第2期の講座において、講演を行いました。

平成29年度 環境授業・環境講演会実施内容

| 実施日 | 対象者 | 参加人数 | テーマ |
|--------|----------------------|------|------------------------------|
| 6月16日 | 越ヶ谷小学校5年生 | 148 | 越谷の自然環境 未来の地球と私たちの暮らし |
| 9月14日 | 大間野小学校4年生 | 104 | 綾瀬川の歴史と水環境について |
| 10月30日 | がもう楽生塾受講者 | 17 | 越谷の自然環境 越谷市の地球温暖化対策 |
| 10月30日 | 大沢北小学校5年生 | 97 | 越谷の自然環境 |
| 10月31日 | 弥栄小学校5年生 | 79 | 越谷の自然環境 越谷市の地球温暖化対策 |
| 2月17日 | がもう寺子屋受講者 | 27 | 越谷市の自然環境 野生生物との関わりについて |
| 2月24日 | こしがや市民大学(第2期) 受講者 | 278 | 越谷の自然といきものうつりかわり ～行政の視点から |

※上記の他、各小学校で実施している生物多様性子ども調査の授業に、市の職員が参加し、環境サポーターと共に学習支援を行っています。(平成29年度は17回の授業に出席しました。)

1-4 川をめぐる子ども体験バスツアー

越谷市内を流れる川とつながる地域を訪問し、水と自然環境について体験的に学習することを目的に、市内の小学生を対象に「川をめぐる子ども体験バスツアー」をNPO法人越谷ふるさとプロジェクトと共に実施しました。平成29年度は加須市飯積のオニバス自生地や、栃木市藤岡遊水地会館および渡良瀬遊水地を訪問し、オニバスなどの水生植物の観察や、渡良瀬遊水地の見学を行いました。

平成29年度川をめぐる子ども体験バスツアー実施状況

| | 日時 | 場所 | 参加者 |
|---------------|-----------------------------|--------------------------|----------------|
| 事前説明会・ 学習会 | 平成29年8月4日(金) 10:00～12:00 | 越谷市中央市民会館4階 第13・14会議室 | 27名 (保護者含め) |
| 体験バスツアー | 平成28年8月18日(木) 8:30～17:15 | 加須市オニバス自生地・ 渡良瀬遊水地 | 22名 |



1-5 児童館ヒマワリの環境学習事業

児童館ヒマワリのテーマ「生物と環境」には、子どもたちが人と自然の調和や動植物を慈しみ生命を尊重する心をもち、科学する心を培っていくという願いが込められています。また、こどもエコクラブ活動の推進により、地球環境を保護するなど、環境形成者としての実践力を育成することをねらいとしています。平成29年度末現在、5 クラブ 687 人が登録を行っています。

－主な実施事業－

① 科学にひたるひととき in 越谷 2017

自然環境、動植物、人体などの研究成果や興味深い事実などに触れるることをおして、自然に関する興味・関心を高めると共に、科学的なものの見方や考え方ができるようにすることをねらいとしています。

| テーマ | 開催日 |
|-------|----------|
| タネと発芽 | 7月25日(火) |

② ヒマワリ自然観察会

野外の自然の中に出で、直接自然の中ですごしたり、館内展示の説明を見たりして、自然や環境についての理解を深め、自然の興味・関心を高める。

| 回 | 月 | 日 | 曜 | 活動内容 |
|---|-----|-----|---|---------------|
| ① | 6月 | 4日 | 日 | 埼玉県自然学習センター見学 |
| ② | 11月 | 19日 | 日 | 茨城県自然博物館見学 |

③ 夏休み特別企画展

地球上のあらゆる環境に適応し、生き抜いている昆虫たち。その中でも子どもたちに人気があり、親しみのあるカブトムシ・クワガタムシを中心にチョウ・トンボ等の特別展示（昆虫の世界）を実施し、環境や生物に対する興味・関心を高めることをねらいとしています。

| 題名 | 開催期間 |
|----------------------|-----------------------|
| 夏！昆虫ワールド～昆虫の不思議によこそ～ | 7月19日(水)～ 7月30日(日) |

④ 夏休み特別企画展 巡回展

日本の生物多様性の豊かさとその豊かさを守るために行われている保全活動を紹介し、越谷市の自然を守ることの大切さを学習する。「生物多様性とは何か？」をはじめとして、自然環境や野生生物などについて、パネル等で紹介します。

| 題名 | 開催期間 |
|--------------|----------------------|
| 日本生物多様性とその保全 | 7月19日(水)～ 8月4日(金) |

共催 独立行政法人国立科学博物館 協力 全国科学博物館協議会 (一財)全国科学博物館振興財団

⑤ わくわく科学教室

学校では経験できない生物の観察やいろいろな科学実験、自然を生かしたものづくり等を行いながら、自然や環境も含めた様々なことを学び、科学への興味・関心を高めることをねらいとしています。

| 回 | 月 | 日 | 曜 | 内 容 |
|---|-----|-----|---|-----------------------------|
| ① | 4月 | 16日 | 日 | メダカの飼い方教室 ※メダカプレゼント |
| ② | | 23日 | 日 | 植物で染物に挑戦Ⅰ(春) |
| ③ | | 30日 | 日 | 3階のプチトマトでジャムをつくろうⅡ※親子5組 |
| ④ | 5月 | 14日 | 日 | プールのヤゴ救出大作戦！！※5歳以上 |
| ⑤ | 6月 | 11日 | 日 | チリメンモンスターを探せ！※定員10名 |
| ⑥ | | 18日 | 日 | ペットボトルでエコスフィアをつくろう |
| ⑦ | | 25日 | 日 | ホタル鑑賞会(予備日)※エコクラブ合同 19:00～ |
| ⑧ | 7月 | 2日 | 日 | ホタル鑑賞会※エコクラブ合同 19:00～ |
| ⑨ | | 9日 | 日 | カブトムシ飼い方講座※定員10名 カブトムシプレゼント |
| ⑩ | | 23日 | 日 | カブトムシ標本づくりに挑戦Ⅰ(2回講座)※定員10名 |
| ⑪ | | 30日 | 日 | いい声で鳴かそう！スズムシ教室 |
| ⑫ | 8月 | 21日 | 日 | 化石のレプリカをつくろう |
| ⑬ | | 28日 | 日 | カブトムシ標本づくりに挑戦Ⅱ(2回講座)※定員10名 |
| ⑭ | 9月 | 3日 | 日 | 生物標本でアクセサリーをつくろう(封入標本) |
| ⑮ | | 10日 | 日 | 秘密道具～空気砲を体験しよう |
| ⑯ | 10月 | 15日 | 日 | 植物で染物に挑戦Ⅱ(秋) |
| ⑰ | 11月 | 12日 | 日 | 恐竜の骨格標本をつくろう |
| ⑱ | | 26日 | 日 | キラキラリースでクリスマスをむかえよう |
| ⑲ | 12月 | 10日 | 日 | 粉雪の降るスノードームをつくろう |
| ⑳ | | 17日 | 日 | すてきなクリスマスキャンドルをつくろう※親子12組 |
| ㉑ | 1月 | 21日 | 日 | アクアリウムで素敵なインテリア |
| ㉒ | | 28日 | 日 | 楽しい菌類 |
| ㉓ | 2月 | 4日 | 日 | 水質汚染の謎をとく！私も出来る水質分析 |
| ㉔ | | 18日 | 日 | 泡で遊ぼう～象の歯磨き粉とバスボム |
| ㉕ | 3月 | 4日 | 日 | ポップコーン！に挑戦 |
| ㉖ | | 11日 | 日 | ペットボトルでセントポーリアを育てよう |

⑥こどもエコバazaar

おもちゃ、文房具、本などのこども版不用品交換市。

自分が不用となったものを持ち寄って交換することにより、子どもに物を大切にすることの大切さや楽しさを実感させることをねらいとしています。 開催日：11月26日(日)

⑦ヒマワリこどもエコクラブ

米作りを通して、健康・水・生物などの関わりから環境について考え、一人ひとりの環境保全に対する意識を高める。また、異なる学校のクラブ員相互の交流を図っています。(全10回)

2. 環境保全活動

2-1 越谷市環境推進市民会議

(ア)組織の概要

越谷市環境推進市民会議は、地球環境の復元能力を超えた人間活動により、私達人間を含めた生物の生存が脅かされている状況を認識し、自然豊かな恵のある地球環境を維持・改善して次世代に受け継いでいくため、市民参加により策定された越谷市環境管理計画に基づいて、市民・事業者の各主体が行う環境保全活動の事業を支援していくことを目的として、平成13年に設立された市民団体です。会長以下役員が置かれ、3つの委員会を中心に活動が行われています。平成29年度末現在、団体会員40事業所、個人会員30名が参加をしています。

(委員会の名称と活動内容)

総務広報委員会:越谷市環境大会、勉強会などの企画、エコニュースの編集発行

自然環境委員会:こしがや緑のオアシスの調査・推薦、市内の自然環境調査

普及事業委員会:エコ事業所宣言・環境ファミリー宣言・緑のカーテンの普及啓発活動、会員の募集

(イ)越谷市環境大会

越谷市環境大会は、越谷市環境推進市民会議と越谷市が、「市民・事業者の各主体が行う環境保全活動の事業を支援していく」ため、市民団体や、事業所、関係機関などに参加を呼びかけ、毎年開催をしています。平成29年度は、第14回として“環境教育”をテーマに、基調講演や事例発表を行いました。また、あわせて「こしがや緑のオアシス認定式」を行いました。

日 時:平成30年3月3日(土)13:00~17:40

会 場:越谷市中央市民会館5階 第4~6会議室

参加者:64名



こしがや緑のオアシス認定式

- 認定者への認定証及び認定プレートの贈呈、事例発表

事例発表等

- 基調講演:「MDGs から SDGs への環境教育の流れ」

獨協大学環境共生研究所研究員・経済学部教授 秋本 弘章

- 事例発表:越谷市教育委員会指導課、越谷市立大袋東小学校、越谷市立西方小学校、

越谷市立児童館ヒマワリ、NPO 法人ふるさとプロジェクト、ポラス株式会社、越谷市リサイクルプラザ(発表順)

(ウ)ECO 勉強会

越谷環境管理計画に基づく施策の実現に向け、市民、事業者、環境活動団体、教育機関などとのつながり(連携)を深め、定期的に情報交換・意見交換などを行う機会として、平成25年度より開催しています。平成29年度は4回のECO 勉強会を開催しました。

平成29年度 ECO 勉強会実施状況

| 月日 | 回(通算) | 勉強会名 | 参加人数 |
|--------|-------|-----------------------|------|
| 9月23日 | 第16回 | 野生絶滅種“コシガヤホシクサ”を知ろう! | 18名 |
| 9月26日 | 第17回 | 越谷市環境管理計画について学ぼう!! | 10名 |
| 10月21日 | 第18回 | 越谷に残る原風景「屋敷林」に触れてみよう | 23名 |
| 3月16日 | 第19回 | 埼玉鴨場見学会～越谷市環境保全区域を学ぶ～ | 41名 |

2-2 こしがや環境サポーター

市民や団体、教育機関等における環境配慮活動等への協力、支援を進めながら地域における自然環境保全、普及啓発活動を幅広く推進していくため、越谷市では、登録制による「こしがや環境サポーター」制度を平成27年度から開始しました。サポーターとして登録された方は、地域や学校などの求めに応じ、環境イベントへの協力や、学校の環境学習への支援を行っています。

○平成29年度末現在登録数：市民サポーター61名、学生サポーター19名、企業サポーター1社

平成29年度活動内容

| 活動名称 | 内容 | 実施日 | 参加者 |
|---------------------------|---|--------------------------|-------|
| 出前授業 | 東越谷小学校での植物観察の協力 | 5月11日 | 3名 |
| 出前授業 | 雑草除去、フジバカマ移植等 | 5月23日 5月24日 11月29日 | 延べ10名 |
| フジバカマ保護活動 | フジバカマ公園・南荻島さくら公園の除草、フジバカマの移植等 | 6月9日 3月1日 3月8日 | 述べ9名 |
| 越谷市いきもの調査2017-2020（第1回夏期） | 指標生物30種の発見状況報告 | 7月1日～9月30日 | 22名 |
| コシガヤホシクサ栽培への協力 | 苗の植替、種子採取 | 7月10日 11月6日 11月29日 | 延べ17名 |
| オオオナモミ除去活動 | 葛西用水でのオオオナモミ除草と清掃、キタミソウの観察、コシガヤホシクサ野生復帰取組報告 | 9月30日 | 6名 |
| こしがや子どもトンボサミット | イベント運営協力 | 10月20日 | 7名 |
| キタミソウ観察会クリーン作戦 | 葛西用水での清掃とキタミソウの観察 | 2月24日 | 6名 |
| 環境サポーター交流会 | 年度事業報告と次年度事業計画説明、研修（クビアカツヤカミキリについて）等 | 3月26日 | 29名 |
| 越谷生物多様性子ども調査支援 | トンボ調査学習支援など | 通年 | 延べ94名 |



活動の様子（左上：出前授業（東越谷小）・右上：いきもの調査、左下：コシガヤホシクサ種子採取、右下：環境サポーター交流会）